岡山県北をもっとおもしろく！

いーなかえーる新聞

vol.07
2023.1 発刊

ina kaeru（いーなかえーる）
岡山県北で はたらく&くらす

WEBサイトは スマホから

HAPPY NEW YEAR

岡山県北にUターンやIターンが増えるように。地方で働くことが当たり前の選択肢になるように。
岡山県北地域の「ひと」「くらし」「しごと」情報をお届けしています。

インターネットで検索
いーなかえーる　kenhoku.jp

Interview 01 おばあちゃんが創業した笏本縫製

丸尾　笏本縫製はどのような会社か教えてください。

笏本　ネクタイ縫製を行う会社です。祖母が1968年に創業し、55年を迎えます。
はじめはシャツのボタン付けなどを行う内職所のような形でしたが、ベビー服の縫製なども行うようになって、母の代で法人化しました。ネクタイ縫製に事業転換したのは、いまから約15年前です。

丸尾　ホームページに「縫製はかっこいい」という言葉がありますね。

笏本　僕自身、ミシンの音を子守歌に育ちましたが、物心ついてくると、大変な仕事だし、儲かってそうもないという偏見を持つようになり、かっこ悪いとも思っていました。ですが、母が体調を崩したのを機に、改めて家業をしっかり見てみると、実はめちゃくちゃ「かっこいい！」ということに気づきました。
縫製はかっこいい仕事なんだということを知ってもらうのが自分の使命だと思っているので、ホームページにも覚悟を持って「縫製はかっこいい」と載せています。

Interview 02 ネクタイブランド「SHAKUNONE（笏の音）」の誕生

丸尾　SHAKUNONE（シャクノネ）というネクタイのオリジナルブランドを立ち上げられていますが、どういう経緯で始まったのでしょうか。

笏本　SHAKUNONEを2015年の9月にスタートして、7周年になりましたが、それまではほぼ100％受託製造の仕事でした。うちの商品は品質がいいというメーカーさんからの定評はありましたが、「下請け」という立場上、実際に買ってくれるお客さんの声が「つくっている自分たちに聞こえないこと」に違和感を持っていました。もっと自分たちの価値を外に出していくためには「コアになるもの」がないといけない。そのコアになるものが僕たちのオリジナルブランドなんだ、という考えでつくりました。

丸尾　「一からブランドをつくる」ことは製造の技術などはもちろんですが、それだけではないですよね。

笏本　はい。SHAKUNONEというネクタイの存在を知られないことには何も始まらないので、まずホームページをつくり、ブログをたくさん書きました。それからSNSを始め、どんどん発信をしていきました。とにかく知ってもらうためにクラウドファンディングをやって、SNSでそれを広げてというのを繰り返し行ったんです。それを続けていくと、自分たちの声は遠くまで届くんだというのがわかりました。
全国の百貨店から声をかけてもらって売り場に立ち、お客様の声を直接聞けるようになったことで、自分たちの仕事で喜んでくださる方がたくさんいることがわかったし、そういった声を聞けることで自分たちも幸せになれると心底思いました。

津山発のネクタイブランドを全国に展開

株式会社笏本縫製
岡山県津山市にある縫製会社。創業から約半世紀。縫製に関わる技術とノウハウを蓄積し2015年にオリジナルの高級ファクトリーブランドとしてSHAKUNONE（笏の音）を立ち上げ展開している。
https://shakumoto.co.jp/

今回のかえーる人は
株式会社笏本縫製 代表取締役 笏本達宏

KAE～RU - JIN おかやまけんほく かえる人

かえーる人とは、情熱とアイデアで岡山県北を元気にする人たちのこと。岡山県北で活躍するかえーる人の最新情報をお届けします。

インタビュー全文はこちらから

Interview 03 自社ブランドがなければ、今はない

丸尾　コロナ禍が現状も続いていますが、影響はありましたか。

笏本　2020、21年は受託製造のほうはかなりしんどかったですが、僕たちにはSHAKUNONEがあるので、乗り切ることができました。2015年にSHAKUNONEを立ち上げたときには、周りからは「うまくいくわけない」とか「下請け工場が生意気だ」とか結構ひどいことも言われました。そこで挑戦することをやめ、これまでと同じことを続けていたら、堪えられていなかったと思います。
僕たちは自社ブランドを持っていて、お客さんの声を吸い上げることができる。そして、お客さんの声を反映して商品をつくる技術力があり、販売するしくみも持っている。さらに、商品の情報を発信するツールも持っている、となったときに、「もしかしたら最強なんじゃないか？」と思えるようになりました。

Interview 04 お客様に喜びを、つくり手に目いっぱいの幸せを

丸尾　笏本さんのこれからのビジョンを教えてください。

笏本　僕が代表になってつくった「お客様に喜びを、つくり手に目いっぱいの幸せを」という経営理念を、自分たちが体現することです。堂々と私たちは幸せですと言えるようになること。それはスタッフも含めてです。
そうして、この岡山県津山市という場所に根付く強い会社になり、いろんな人と関わりながら、「お客様に喜びを、つくり手に目いっぱいの幸せを」を徹底してやっていきたいなと思っています。

〈インタビュアー〉
レプタイル株式会社 代表取締役 丸尾宜史

岡山県北の「ひと」「くらし」「しごと」を応援しています

いーなかえーる新聞を応援しませんか？協賛広告 随時募集中です。

ina kaeru（いーなかえーる）
岡山県北で はたらく&くらす

いーなかえーるとは・・・『いーなかえーる』の語源は「いなかに、かえる」「いなかに、エール」「いーな、帰る」など。岡山県北を中心とした地方ではたらく・くらすことの魅力を伝えるローカルメディアです。

〈後援〉津山市、新見市、真庭市、美作市、鏡野町、久米南町、勝央町、奈義町、美咲町、新庄村、西粟倉村

求職者のみなさまへ　詳しい求人情報はコチラのサイトへ
求人募集企業さまへの問合せや応募は直接企業さまへご連絡ください。
kenhoku.jp
インターネットで検索　いーなかえーる

※当サービスは、ウェブサイトに求人情報を掲載する「求人広告」です。求職者のマッチング（就職、雇用の斡旋など）を行うものではありません。